縁（ゆかり） NO.23	R5. 10. 10（火）	文責　坂本英明

学校教育目標　【自ら考え、判断し行動する子どもの育成】
めざす子ども像〈自ら考え、自分のことばで表現し学び合う子ども〉
めざす学校像　〈教師・保護者・地域が学校教育目標達成のため一丸となって教育活動を行う学校〉
めざす教師像　〈教育的愛情と情熱をもち，皆と協働して学び続ける教師〉

服装を整え，心を整えましょう

10月5日（木）は全校集会があり，校長講話では，「服装」について話しました。日本では，以前より，「襟を正す」という言葉があります。文字通り，「鏡を見て洋服の襟をきちんと整えること」ですが，「態度や姿勢を改めて気を引き締めること」の意味でも使われます。学校は，公共施設で教育の場ですので，「襟を正す」ことは大切だと考えています。

入学式の写真を見せると子どもたちは，「かっこいい　美しい　きちっとしている」と感じました。日本の「正装」の文化は，子どもたちにとっても見栄えのいいもののようです。しっかり受け継がせなければならない文化です。

学校での「正装」は標準服です。子どもたちは，「かっこいい　美しい　きちっとしている」のは「青」と答えました。「服装の乱れは心の乱れ」と言われます。シャツを中に入れ，名札をつけて，「服装を整え，心を整えて」学校生活を過ごしてほしいものです。

価値観が多様化し，学校のきまりについては，世間でも様々な意見や考えが飛び交っています。しかし，学校で児童が安心で安全に生活するためには，秩序を保つことが必要です。「東っ子の身なり」「飽田東っ子のくらし」については繰り返し指導していきます。しかし，強制ではなく，児童が自分たちで意識して生活していくようにしていきたいです。

学級単位から学年単位へ

小学校は以前から，学級担任が朝から放課後までずっと教育を行っています。中学年や高学年になると，理科や音楽など一部の教科が専科になります。

二学期以降は，学校行事も増えることから，学級でなく学年単位で過ごす時間が増えています。これをきっかけに，学年集会や学年合同帰りの会，合同体育を行うようにしています。さらに，担任教科交換授業など学級担任以外の教員が児童を指導する時間を増やす予定です。これにより，学年職員が，当該学年の児童と広く関わることをねらっています。隣の学級にどんな児童がいるの？ではなく，学年の児童全員を，学年職員で見守る体制を整えていきます。

中学校のように，完全に教科担任制にすることはできませんが，高学年を中心に少しでも近づくことができるようにしたいと思います。

5年合同朝会

3年教科交換授業

↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓
http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm